

# 第6学年 家庭科学習指導案

鷺敷小学校 6年

指導者 T1 米崎 香織

T2 岸本 由加里

## 1 題材名 わじきっ子の輪プロジェクト A(4)ア

## 2 題材設定の理由

### (1) 題材について

本題材は、小学校学習指導要領内容「A家族・家庭生活」の(3)「家族や地域の人々との関わり」ア(イ)及びイの学習を基礎とし、(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」を受けて設定したものである。実践の際には「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」で学習した内容との関連を図りながら、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、計画を立てて実践し、評価・改善するなど一連の学習活動を通して、課題を解決する力と生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うことをねらいとする。

社会の急速な変化により家庭の在り方は多様化し、これまでとは異なる生活様式に対応しながら、様々な課題に向き合い解決していかざるを得ない状況にある。児童が生涯にわたって、社会の変化に対応し、よりよい生活に向けて問題解決をしていくには、家族や地域の人々との関わりの大切さを理解して協力していくことが求められる。しかし、少子高齢化が進み、生活様式の急激な変化の影響により、異なる世代の人々と関わる機会が少なくなっている。

そこで、本題材では、1年生との交流を通して異なる世代の人々とよりよく関わるために、自分にできることを生活の課題として設定し、「どのような交流会にしたいか」「どのようにすれば1年生とともによりよい生活を築いていけるのか」をこれまでの学習を生かして計画を立て実践する。そして、実践した結果を評価・改善して、さらによりよく関わろうとする主体的な態度を育成したいと考え、本題材を設定した。また本題材では、「生活の営みに係る見方・考え方」の「協力」の視点に重点をおいて学習を進める。

### (2) 児童の実態について

家庭科の学習を楽しみにしている児童が多く、体験的な活動に意欲的である。家庭での生活の課題を設定し実践する学習を経て、実生活で学んだことを工夫し活用する方法を経験している。しかし、家族の一員として自ら問題意識をもって課題を設定したり、継続して学んだことを活用したりしている児童は少ない。1学期当初は、家庭や地域の人々に支えられてきたことに自覚が乏しい様子が見られたが、教科での学習や特別活動等を通して6年生としての役割を自覚できるようになってきた。A(3)「地域の人々とよりよく関わろう」では、地域の人々とよりよく関わることの大切さを学び、1年生のためにどんなことができるかを考え計画することができた。総合的な学習の時間では、1年生との交流会「わじきっ子の輪Ⅰ」を実践した。実践報告会では、「もっと1年生の役に立てることがないか」「6年生として何かしてあげたい」といった問題意識をもつことができるようになってきた。

このような実態を踏まえ、本題材では、「わじきっ子の輪Ⅰ」を振り返るとともに、地域の一員として自分にできることを考えて課題を設定し、「わじきっ子の輪Ⅱ」を計画・実践できるようにする。1年生と積極的に連携を図ることで児童に地域で実践する喜びを味わわせ、自信を育てるようにしたい。

### (3) 指導について

本題材は、1年生との関わりの中から問題を見いだし、問題解決的な一連の学習過程を通して、これまでの家庭科の学習で身に付けた知識及び技能などを活用し、課題を解決する力と生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うことをねらいとする。まず、A(3)「地域の人々とよりよく関わろう」の学習では、1年生との交流会「わじきっ子の輪Ⅰ」を計画し、実践する。実践後に活動を振り返り、気になる点や自分で改善できそうな点について考え、「生活の営みに係る見方・考え方」の「協力」の視点から、A(4)「わじきっ子の輪プロジェクト」の学習で、「わじきっ子の輪Ⅱ」に向けて新たな課題設定に導く。そこから、設定した課題の解決に向けた実践計画を立てることができるよう支援する。また、題材を通した1枚もののワークシートを活用することで、「課題の設定」から「評価・改善」までの一連の流れを把握しやすくし、見通しをもって活動できるようにする。その内容についても、友達と共有し、検討・改善できるようにICTを活用する。1年生との関わりを、自分の力で工夫してよりよく変えていくことができることを実感させ、自信を育てて今後の生活を改善していく意欲につなげさせたい。

### (4) 研究主題または研究副主題との関わり

本教材は、本校研究内容(2)③「問題解決的な学習過程の工夫」に重点をおき、研究副主題に迫る。「課題の設定」「計画」「実践」「まとめ・発表」「評価・改善」の流れを把握しやすくするために、題材を通した1枚もののワークシートを活用する。振り返りや自己評価を行い、実践発表会を通して友達の意見や実践から新たな課題を見つけられるようにする。自分で家庭生活をよりよくできるということを体験できるようにし、主体的に取り組み実践しようとする態度を育成できるよう授業改善していく。

## 3 題材の目標

- 地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見い出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、「わじきっ子の輪Ⅱ」の計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。(思考力、判断力、表現力等)
- 家族の一員として、生活をよりよくしようと、「わじきっ子の輪Ⅱ」での地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、地域などで実践しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

## 4 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-------|--|--|
|       | 1年生との関わりについて学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見い出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、「わじきっ子の輪Ⅱ」の計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 | 家族の一員として、生活をよりよくしようと、「わじきっ子の輪Ⅱ」での1年生との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、地域などで実践しようとしている。 |

## 5 指導と評価の計画（全4時間）

| 学習過程  | 時間      | 小 題 材 名<br>○ ね ら い<br>・ 主な学習活動   | 評価規準・評価方法 |  |   |
|---|---------|--|-----------|--|---|
|   |         |  | 知識・技能     | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
| とらえる<br>見通す   | 1       | <b>1「わじきっ子の輪Ⅱ」をしよう</b><br>○1年生との関わりの中から問題を見いだして課題を設定することができる。<br>・1年生との関わりについての問題点を話し合う。<br>・「わじきっ子の輪Ⅱ」に向けての課題を設定する。<br>・具体的な内容や調べることを話し合う。                              |           | ①「わじきっ子の輪Ⅱ」に向けて1年生との関わりの中から問題を見いだして課題を設定している。<br>・計画・実践レポート                                      | ①「わじきっ子の輪Ⅱ」での1年生とのよりよい関わり方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。<br>・計画・実践レポート<br>・行動観察    |
| 確かめる  | 2<br>本時 | <b>2工夫して計画しよう</b><br>○「わじきっ子の輪Ⅱ」での1年生との関わりに関する課題の解決に向けて、よりよい方法を考え、計画を工夫することができる。<br>・1年生にプレゼントする手作りアイテムを考える。<br>・グループ内で、手作りアイテムの計画について意見交流する。<br>・意見交流したことを基に、自分の計画を見直す。 |           | ②「わじきっ子の輪Ⅱ」での1年生との関わりに関する課題の解決に向けて、よりよい生活を考え、計画を工夫している。<br>・計画・実践レポート                            | ②「わじきっ子の輪Ⅱ」での1年生との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。<br>・計画・実践レポート<br>・行動観察    |
| 製作活動：1年生のために手作りアイテムを作ろう（総合的な学習の時間）<br>実践活動：「わじきっ子の輪Ⅱ」をしよう（学級活動） |         |  |           |  |   |
| 振り返る  | 3<br>4  | <b>3実践発表会をしよう</b><br>○「わじきっ子の輪Ⅱ」に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく説明したり、発表したりすることができる。<br>・会を振り返り、計画・実践レポートにまとめる。<br>・実践発表会で報告し合う。   |           | ④「わじきっ子の輪Ⅱ」に向けた1年生との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく説明したり、発表したりしている。<br>・行動観察<br>・計画・実践レポート | ③更によりよい生活にするために、1年生との関わりに関する新たな課題を見つけ、次の地域での実践に取り組もうとしている。<br>・計画・実践レポート<br>・行動観察 |

|             |   |  |  |  |
|-------------|---|--|--|--|
| 生<br>か<br>す | <p>○「わじきっ子の輪Ⅱ」での1年生との関わりについて実践した結果を評価・改善し、新たな課題を見つけ、次の実践に取り組もうとする。</p> <p>・活動を振り返り、これからの生活において地域の人とどのように関わりたいのか考える。</p> |  | <p>③「わじきっ子の輪Ⅱ」での1年生との関わりに関する課題の解決に向けて地域で実践した結果を評価したり改善したりしている。</p> <p>・計画・実践レポート</p> |  |
|-------------|---|--|--|--|

## 6 題材構想図（全4時間）

【見方・考え方】協力

【題材全体を貫く課題】1年生とよりよく関わって生活していくためにできることを考えよう。

| 学習過程  | 小題材名                      | 児童の思考   | 見方・考え方を働かせている思考   | 他教科等との関連  |
|---|---------------------------|---|---|---|
| とらえる  | 1次（1時間）<br>「わじきっ子の輪Ⅱ」をしよう | <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を振り返ると、自分でできるようになったことはたくさんある。</li> <li>1年生との交流会での課題は何だろう。</li> <li>「わじきっ子の輪Ⅰ」での気づきを生かそう。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>どんなことをすると1年生に喜んでもらえるかな。</li> <li>1年生の役に立てるようにしたい。</li> <li>1年生とのつながりを深めたい。</li> </ul>                                  | 総合<br>驚敷のつながりを知ろう<br>「わじきっ子の輪プロジェクト」をしよう<br><br>学級活動(3)<br>最高学年としての役割を果たそう<br><br>道徳<br>C-（15）<br>「はじめてのアンカー」<br>家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること |
| 見通す   |                           | 1年生とよりよく関わって生活していくためにできることを考えよう   |   |   |
| 確かめる  | 2次（1時間）<br>工夫して計画しよう（本時）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>予算内で必要なものを買えるように考えよう。</li> <li>材料の準備や手順を確認しよう。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生の〇〇さんの好きな色は何だったかな。</li> <li>手作りの道具を喜んでくれたらいいな。</li> </ul>   |   |
|   |                           | 製作活動（総合的な学習の時間）<br>実践活動（学級活動）   |   |   |
| 振り返る  | 3次（2時間）<br>実践発表会をしよう      | <ul style="list-style-type: none"> <li>実践したことがよく伝わるようにするためにどうしたらいいかな。</li> <li>友達の報告を聞いたら、新しい課題に気付いた。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生に喜んでもらえて、自分の力を役立てることができた。</li> <li>地域の人々（1年生）と関わることは嬉しいな。</li> <li>友だちの新たな一面に気付くことができた。これからも仲よく生活していきたい。</li> </ul> |   |
| 生かす   |                           |   |   |   |
| <b>目指す子供の姿</b><br>○学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。（思考力、判断力、表現力等）<br>○家族の一員としての自覚を持ち、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、家庭で実践しようとする。（学びに向かう力、人間性等） |                           |   |   |   |
| ↓   |                           |   |   |   |
| <b>中学校との関連・・・A(4)家族・家庭生活についての課題と実践</b>  |                           |   |   |   |

## 7 本時の学習

### (1) 目標

「わじきっ子の輪Ⅱ」での1年生との関わりに関する課題解決に向けて、よりよい方法を考え、計画を工夫することができる。

### (2) 展開

見・考

「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせる場面

| 時間<br>(分) | 学 習 活 動  | 指導上の留意点   | 評価規準<br>・評価方法   |
|-----------|--|---|---|
| 5         | 1 本時の学習のめあてを確認する。  |   |   |
|           | 1年生にとって便利な手作りアイテムを考えよう   |   |   |
| 20        | 2 「わじきっ子の輪Ⅰ」を振り返り、「わじきっ子の輪Ⅱ」で1年生にプレゼントする手作りアイテムを考える。<br>〈具体的な内容の例〉<br>掃除・整理整頓を手助けする計画<br>1年生が使いやすい雑巾・ハサミカバーの製作・巾着・ティッシュ入れの製作など | ○1年生へのインタビューや調べてきた資料を基にして、計画に必要な材料の購入や用具の準備を考えるように助言する。 | ○「わじきっ子の輪Ⅱ」での1年生との関わりに関する課題の解決に向けて、よりよい生活を考え、計画を工夫している。<br>・計画・実践レポート |
| 10        | 3 グループ内で、手作りアイテムの計画について発表し、意見交流する。   | 見・考<br>○参考資料を確認したり、タブレット端末を活用して発表したりできるようにする。           |   |
| 5         | 4 グループ内で、意見交流したことを基に自分の計画を見直す。<br>・自分の計画に改善点を見つけて見直す。  | ○友達の工夫やアドバイスなどを参考にして、1年生にとって便利になるように計画を見直すことを助言する。      | ○「わじきっ子の輪Ⅱ」での1年生との関わりに関する課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。              |
| 5         | 5 本時の学習をまとめ、振り返る。<br>・計画を工夫するために努力したことをまとめる。   | ○「わじきっ子の輪Ⅱ」への見通しをもたせ、実践への意欲につなげるようにする。                  | ・計画・実践レポート<br>・行動観察   |

### (3) 評価及び指導の例

思考・判断・表現

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 「十分満足できる」と判断される状況           | 1年生にとって便利な手作りアイテムを考え、相手に合わせた計画を工夫している。    |
| 「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導 | 視覚的に分かりやすい掲示物や資料を準備し、意欲的に計画に取り組めるようにする。   |
| 主体的に学習に取り組む態度               |   |
| 「十分満足できる」と判断される状況           | 友達の意見を参考に、相手に合わせた手作りアイテムの計画を改善しようとしている。   |
| 「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導 | 友達の工夫やアドバイスなどを参考にしたり、グループで相談したりするように助言する。 |

